



# 『ヒューマン・ハーバー“T.O”』

## “Only as for giving it a way”

〔“偉人間交流会”・『語ろう会』会長：小川 正〕

### 2007/03/13~14:しまなみ海道「因島」&「真鍋島」見聞録

昨年、桜シーズンには今回と逆コースで福山より今治へ向かいましたが、しまなみ海道(高速道)が全線開通しておらずに断続的に一般道路を走行した関係で時間の長さを感じましたが、昨年末の全線開通で今治駅前から因島大橋BSまで約50分と到着しました。

因島大橋BSでは、サン・グリーン・リバー(株):堀本社長とヤング産業(株)グループ・創業会長:堀本幸弘様の出迎えを受け、ロールスロイス(右ハンドル)で御案内頂きました。



#### ＜堀本様経営のリゾート＞

ヘルシーリゾートサン・グリーンは瀬戸内海国立公園の中に位置し南太平洋の島々の神秘的な自然と健康的な遊びを満ちし、地域社会に奉仕することを目的としたリゾートです。



〒722-21 因島市重井町三ツ池45-3

#### ★ご存知でしたか？

“八朔(はっさく)”の原木が因島に在り、八朔発祥の地だそうです。

意外と知られていないのではないのでしょうか。

現在は島人口が減少でピーク時の半分程度の2万人強との事で、人が減ると当然のごとく経済力も低下して、かつての造船ブームでの賑わいが消えると共に、夜は人影も少なくて繁華街も火の消えた状況だそうです。

65歳以上の占める割合が35%を超える事態となり、正に健康リゾートとして島外から人を呼び込む事を考えなければならないのだが、それに反して受入れ施設が減少する状況です。

因島を1周するには、車で約1時間。

ゆったりと時を過ごされるには、自然が一杯で海が傍でサマーシーズンは最適のんびりリゾートですね。

翌朝からサン・グリーン・リバー(株):堀本元哉社長の運転にてロールスロイスで福山入りし、ライセンス:(株)ドゥアールを訪問し佐藤政徳社長に堀本氏を紹介も程々で、佐藤社長の御案内で昼食場所の「真鍋島」に30フィートのクルーザーで向かいました。



波しぶきを上げて「真鍋島」へ！約30分



港に停泊の漁船



堤防で『漁火』の親父さんが、出迎えてくれた！



「魚火」  
出てきた料理を、御覧下さい！



左:手長たこ・活刺 / 右:活えび



ひらめ・カワハギ・黒鯛



黒鯛の叩き風



蝦蛄・ゆで



石蟹・塩茹で



手長たこ・丸揚げ

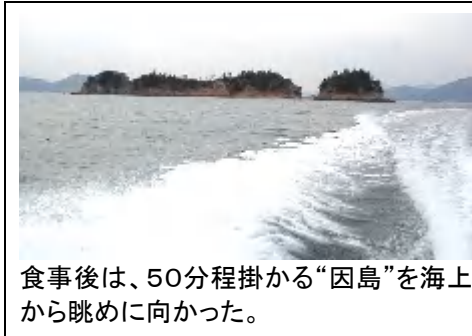
かぶりついて、食べるのが一番！  
ゆで蝦蛄・ゆで蟹は、食べ切れず  
にお持ち帰り！

これら写真以外にも、黒鯛(1匹)  
塩焼・かれい(3匹)から揚げや具  
沢山・味噌汁など、食べ切れない  
美味なる海の幸が登場するの  
です。



お腹一杯で、いざ出航！

お腹一杯の後にクルーザーで島巡りをさせて頂き、海の空気もお腹一杯詰め込んでまいりました。



食事後は、50分程掛かる“因島”を海上  
から眺めに向かった。



クルーザーから下船して佐藤社長の車で(株)ドウアール様に戻り、ロールスロイスに乗換えて堀本社長に  
広島空港までお送り願いました。…本当に、有り難い事でした。感謝！

瀬戸内海に浮かぶ島々は3000に及ぶと言われ、島巡りの途中で見ました無人島は個人所有で450万  
円程度にて自治体により販売されているらしい。

国定公園に位置する事から、建築物は建てられないし、水道・電気・ガスも無いので生活は不能である。

\* 真鍋島には一般の方は笠岡市からの定期船便のみのアクセスになるのですが、“魚火”には我々を含  
めて3組が食事に来られていました。

\* 因島市は人口減により、現在“尾道市”に編入されております。…地方の人口減少と、都市部&関東  
圏への人口集中は日本各地の産地をも脅かす現象が加速しており、今後の問題として捉えて置くべき  
でしょうね。

以上

\* エリアの地図は、次ページに貼り付けました。

